

## 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
太田東小学校の通学路について	下太田地区から太田東小学校への通学路には歩道がない所があります。交通事故が心配なので、対策を検討してほしいです。	下太田地区から太田東小学校への通学路である市道下太田上太田5号線の歩道がない延長510メートルの区間について、歩道整備事業を令和元年度から進めております。歩道整備工事は、令和7年度から着手する予定としており、東側から進めてまいります。 工事の実施に当たっては、事前に周辺住民の皆様にも周知を図るとともに、通学児童を含めた歩行者の安全な通行に配慮してまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。	建設部 道路建設課
盛岡市のごみ分別、アプリについて	盛岡に転入してきて、盛岡のごみ分別の細かさと分かりにくさに驚きました。さんあ〜るアプリをインストールしてみましたが、出し方カレンダーとほぼ同じことしか記載がなくあまり活用できません。 そこで、「ごみ分別の簡素化」と「アプリの効率・機能性の向上」を希望します。資源を大切にということはとても分かるのですが、これからの若い世代や新しく引っ越してくる世帯にとっては、大変だと思いますし、分別が多すぎると、逆に違反ごみや分別を間違えるのではないかと思います。 また、アプリには携帯のカメラでごみを撮ると分別が分かる機能があると手軽で良いと思います。そしてアプリを一日一回開くとポイントがたまり、そのポイントを何かお買い物に使いたり交換できるシステムがあればもっと資源とごみの分別に若い世代も興味を持つのではないのでしょうか。	一点目のごみ分別の簡素化についてですが、本市における分別区分は、市民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、長年にわたり、ごみ減量・資源再利用に向けて取り組んできた経過があります。資源として再利用や再生利用が可能なものは、できるだけ資源化し、処理するごみが少なくなることで、焼却施設・破砕処理施設の延命化が図られたり、最終処分場（埋立場）の利用期間が長くなったりするほか、コストの軽減につながります。また、限られた資源の有効活用につながるため、地球環境の保全や二酸化炭素の排出削減による地球温暖化対策にも資するものと考えております。 他の自治体から転入され、分別区分の大きな違いにより御負担をお掛けしているとは思いますが、現在、本市におけるごみの排出量は着実に減少してきておりますことから、何とぞ御理解と御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。 二点目のごみ分別アプリの効率・機能性の向上についてですが、ごみ分別アプリにおいて、携帯電話のカメラ機能で調べたいごみの写真を撮ると分別が分かる機能につきましては、利用者の方により分かりやすく、便利な機能の一つとして導入の検討をしてみたいと存じます。 また、ポイントシステムにつきましては、システム導入に係る開発上の問題等のほか、ポイントサービスの原資確保等の課題もあることから、現状では導入は難しいものと考えておりますが、今後の利用促進の取組に関する貴重な御意見として承ります。 今後も清掃行政の改善に努めてまいりますので、御理解、御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。	環境部 資源循環推進課
物価高騰に対する子育て世帯への支援について	米価格の高騰により、非課税世帯以外の子育て世帯にも生活に支障が出ているので、市で支援をしてほしいです。	物価高による経済的負担の増加に対する子育て世帯への支援として、令和6年度において、放課後児童クラブでのおやつ代、保育所や認定こども園等の副食費を支援することで、保護者負担額の軽減を図ったところであります。 子育て家庭への経済的な支援については、子どもを育てることに対する不安を軽減するとともに、子どもの健やかな成長につながるものと認識しておりますので、財源の確保などの課題もございますが、この度の御提案や他の自治体の取組を参考にしながら、効果的な支援の方法や内容等について検討してまいります。	子ども未来部 子ども青少年課

## 市長への手紙

－市民の意見箱－

件名	ご意見・ご提案	回答	担当課
集いの場について	障がい者や高齢者などの属性にとらわれず、誰もが分け隔てなく集まることができる場があれば、地域全体が元気になると思います。	市としましても地域の支え合う力を向上・再構築する「地域づくり」の観点から、年代や属性を超えて交流できる「居場所」の整備が必要と考えており、地域共生社会推進フォーラムを開催し、空き家や集会所、畑、インターネット空間といった、身近な資源を活用した居場所づくりの事例や活動を進める上でのポイントなどを紹介しております。実際の居場所づくりに当たっては、今後も引き続き皆様と共に取り組んでまいります。	保健福祉部 地域福祉課
資源マップについて	障がい者や高齢者といった分野ごとに利用できるサービス等の資源をまとめた、分野横断的な資源マップがあれば、包括的な支援につながると思います。	支援を必要とする方が地域に点在する資源を分野横断的に活用することは、住民や事業者が支え合う「地域づくり」に寄与するものと考えますので、マップの作成や活用に向けてどのような取組が可能か、皆様と共に検討してまいります。	保健福祉部 地域福祉課
移動支援について	高齢者などが自由に外出するには、タクシーなどの公共交通機関が必要です。公共交通を維持できるよう取り組んでほしいです。	市では、地域のニーズに合わせた効率的で持続可能な地域公共交通網の形成を図るため、公共交通に関する施策を実施してきているところであり、高齢者のおでかけ機会を促すためなどの施策として、70歳以上の高齢者を対象とした「まちなか・おでかけパス事業」を平成24年度から実施しております。 交通事業者においては、人口減少や新型コロナウイルス等による生活スタイルの変化により、公共交通の利用者が減少している状況が続いており、さらには物価高騰による車両や運行にかかる経費への影響と運転士不足等により、非常に厳しい経営状況にあると伺っておりますが、将来にわたり持続可能な公共交通を構築するためにも、利用する人にとって使いやすく、日常的に使っていただける公共交通となるように、また、誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通網の形成を図るため、今後も交通事業者や関係者と相談しながら効率的な交通体系の構築に向けた施策について検討してまいります。	建設部 交通政策課